



春は多くの会社や学校で健康診断が実施されます。近年では健康意識の高まりからか、健康診断の基本検査の他にオプション検査を希望する方も増えており、オプション検査についてのご質問も多く寄せられています。また、健診結果の数値で疑問点や不安な内容がある場合は…まずはファミリー健康相談へ電話してみましょう！検査の目的や方法などについてご説明し、健康状態のチェックや病気の予防にお役立ていただけるようサポートします。

ファミリー健康相談では、こんな相談が…

Q: 最近いびきがひどくなりました。呼吸が途中で止まることもあり心配です。何科を受診すればよいのでしょうか？

A: 体重が大幅に増えたとのことなので、まず減量を心がけてください。医療機関は、耳鼻科や呼吸器内科を受診するとよいでしょう。

Q: 1年前に薬によるピロリ菌除菌治療をおこないました。今回健診の血液検査で抗体陽性とでましたが、どのような意味なのでしょう？

A: 「抗体陽性」とはピロリ菌に対する抗体があるという意味で、除菌が成功したことを確認できるものではありません。治療後、検査を受けていないようでしたら、主治医に一度相談してみてください。

Q: ふくらはぎに静脈瘤ができていますが、最近痛みがあり気になります。受診したほうがよいのでしょうか？

A: 静脈瘤に痛みがある場合、放置しておくとう静脈炎等を起こす可能性もあります。我慢なさらず一度受診してみてください。

Q: 健診で膀胱炎の可能性を指摘されました。ただちに入院したほうがよいのでしょうか。また何か対処法はありますか？

A: 膀胱炎になると、排尿後痛みを感じたり、頻尿になったりします。治療は抗生物質の投与が主です。初期段階の対処としては、水分をなるべく多く摂り、排尿を我慢しないこと、下腹部を冷やさないようにすることが大切です。



ヘルスアドバイザーから
今月の一言

日本脳炎の状況

日本脳炎の患者数は、ワクチン接種の推進とウイルスを持った蚊（日本ではコガタアカイエカ）に刺される機会が生活環境の改善により減ったことで年間数名になっています。とはいえ、日本国内で日本脳炎に感染することが全く無くなったわけではありません。予防は、ワクチン接種が有効なのはいうまでもないのですが、日本脳炎ウイルスを運ぶ蚊に刺されないことも重要です。コガタアカイエカは日没後に活動が活発になるとされていますので、日没後戸外へ出かけるときは長袖、長ズボンを身につける、露出している皮膚には虫除け剤を使用するなど、刺されないように注意しましょう。日本脳炎ウイルスを持った蚊に刺されたとしても、ほとんどの場合は発症しなくて済みますが、まれに脳炎を発症すると、治療は対処法に限られ、致死率が20～40%と高く、回復しても半数は重篤な後遺症が残ります。2010年には新しいワクチンが承認され、積極的勧奨がおこなわれています。



ご自分の健康、ご家族の健康で気になることがあったなら、ファミリー健康相談に相談です！相談専用電話番号は各健康保険組合のホームページまたは健康保険組合発行の冊子等をごらんください。